



県立安積高校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業

UNDESA (国連経済社会局) 高田 実氏とのオンライン 特別授業を開催します



ターゲット 4. 7



ターゲット 7. a



ターゲット 17. 17

令和3年11月4日

郡山市産業観光部

産業創出課

担当: 板橋 誠

TEL: 924-2271

SDGs ターゲット 4. 7 「2030 年までに、持続可能なライフスタイル、グローバル・シチズンシップ等の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。」（一部省略）

SDGs ターゲット 7. a 「2030 年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。」

SDGs ターゲット 17. 17 「さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。」

県立安積高校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業において実施する、エッセン市のウルフスクーレ学校とのオンライン交流プログラムの一環として、UNDESA (国連経済社会局) 高田 実氏とのオンライン特別授業を開催します。

- 1 日 時 11月8日(月) 午後7時～午後8時20分
- 2 場 所 県立安積高等学校 視聴覚室（開成五丁目25-63）
- 3 内 容 県立安積高校1・2年生の代表生徒約10名とウルフスクーレ学校グリーンクラブの生徒約15名を対象にしたオンラインでの特別授業
(1) ウルフスクーレ学校グリーンクラブ、県立安積高校の紹介
(2) 両校生徒が取り組むSDGsプロジェクトの発表
(3) 高田 実氏からの講評と講話（SDG7策定のご経験と国連を中心としたご自身のキャリア、COP26の概要等）、質疑応答と意見交換

4 講 師 UNDESA (国連経済社会局) チームリーダー（エネルギー） 高田 実氏

北海道大学工学部学士・修士号取得。日本原子力研究所研究員を経て、青年海外協力隊員としてガーナで3年間を過ごす。1996年から1998年まで、JPOとしてアンゴラや南部アフリカ各国で再生可能なエネルギーの普及に携わる。三重大学機械工学科博士課程修了。1998年から国連開発計画環境・エネルギーグループ、2006年から2011年まで同グループ持続可能なエネルギープログラムマネージャー、2011年から国連事務総長官房エネルギー上席政策アドバイザー等を歴任。2017年からUNDESA (国連経済社会局) チームリーダー（エネルギー）。



5 連絡先 福島県立安積高等学校（郡山市開成五丁目25-63）
つしま
教頭 對馬 俊晴 TEL: 922-4310

<オンライン交流の経緯>

県立安積高校が令和元年度から令和5年度までの5年間にわたり指定を受けている第2期SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業において、昨年度に続き、オンラインでのワークショップやグループディスカッションにより日独生徒間の交流を深めます。

これまでの産業分野における連携に加え、令和元年9月にエッセン市と郡山市により取り交わされた「教育」と「次世代の人材育成」における都市間協力の合意書に基づき、昨年度エッセン市におけるパートナー学校が決定し、SDGsをテーマとしたオンライン交流プログラムを実施しています。

昨年度は両校の生徒23名が7グループに分かれ、SDGsの各ゴールを1つ選択し、グループワークとディスカッションにより、そのゴールの達成に貢献する共同プロジェクトを企画し、それらを報告会において発表しました。駐日ドイツ大使館や在デュッセルドルフ日本国総領事館から講評をいただきました。

今年度は新たなメンバーを加え、9月22日（水）にキックオフイベントを開催しました。



昨年度の報告会の様子



オンライン交流の様子



駐日ドイツ大使館のSNSで紹介いただきました。

<ウルフスクーレ学校グリーンクラブ>

- ウルフスクーレ学校は1968年創立のエッセン市が運営するギムナジウム（ドイツの中等教育機関、中高一貫校）で、5-12学年（日本の小学5年生から高校3年生まで）の生徒約950名が在籍しています。
- 自然科学等、科学・技術教育（MINT教育）、英語でのバイリンガル教育等に力を入れています。
- 同校グリーンクラブは生徒により創立・運営されている学生企業で、フェアトレード製品やサステナブルな衣服のオンラインストア等での販売、太陽光発電プロジェクト等、学校生活や地域の持続可能性を高めるプロジェクトに取り組んでいます。
- ドイツの青少年や子ども向けテレビ放送のチャンネルであるKIKAのKIKAアワード2020の環境アワード受賞、German Child & Youth Award 2021受賞等、高い評価を得ています。



昨年度のグリーンクラブの参加者



ドイツのオンライン交流の様子



2021年3月にオンライン配信されたエッセン市主催「福島の春：東日本大震災10周年復興支援コンサート」に合わせ、グリーンクラブが作成したロゴマーク